

Ken Sato Memorial Concert

Vol.3

ROHM CLASSIC SPECIAL

～小山実稚恵が奏でるロマン派の巨人たち～

2024 **1.13** |土| 14:00 開演 (13:20 開場)

ロームシアター京都 | サウスホール |

S席(1階) 4,000円 / A席(2階) 3,000円
(全席指定・消費税込)

【チケットお取り扱い】

- ロームシアター京都チケットカウンター 075-746-3201
- 京都コンサートホールチケットカウンター 075-711-3231
- チケットぴあ <https://t.pia.jp/> [Pコード:248-969]
- イープラス <https://eplus.jp/otonowa/>
- otonowa 075-252-8255 ※電話予約のみ
- エラート音楽事務所 075-751-0617

《お問合せ》otonowa 075-252-8255

※未就学児のご入場はご遠慮ください。
※都合により内容等変更になる場合がございます。予めご了承ください。

主催: 公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション
協賛: ローム株式会社

Rohm Music
Foundation
ロームミュージックファンデーション



© Hideki Otsuka

Program

● 第1部

ブラームス : 3つの間奏曲 op.117より

- 第1番 変ホ長調 op.117-1
- 第2番 変ロ短調 op.117-2

シューベルト : 即興曲 op.90 (全4曲)

- 第1番 ハ短調 op.90-1
- 第2番 変ホ長調 op.90-2
- 第3番 変ト長調 op.90-3
- 第4番 変イ短調 op.90-4

● 第2部

ショパン : ノクターン 第2番 変ホ長調 op.9-2
ピアノ・ソナタ 第3番 ロ短調 op.58

KEN SATO MEMORIAL CONCERT VOL.3

Ken Sato Memorial Concert

ROHM CLASSIC SPECIAL

Vol.3

||: 小山実稚恵が奏でるロマン派の巨人たち

経営者でありながら、文化人としても音楽文化の普及と発展に尽力した佐藤研一郎。自身の愛する音楽を通じて社会に貢献するため、数多くの音楽文化支援活動を行ってきた故人の功績を称え、美しいお花に囲まれたステージで一流の音楽家によるコンサートをお届けします。

ロマン派の巨匠、ブラームス、シューベルト、ショパンが遺した名作を、小山実稚恵の円熟味あふれる叙情豊かな演奏でお楽しみください。



©Tatsuo Sasaki

佐藤研一郎が所有していたピアノ

||: 佐藤研一郎と音楽 <1931年~2020年>

Ken Sato

半導体、総合電子部品メーカーであるローム株式会社の創業者、佐藤研一郎は、ヴァイオリニストの父を持ち幼いころから音楽に親しみ自然に音楽を志すようになりました。ピアニストになる夢を持ち続け研鑽を積んでいましたが、コンクールで思うような結果を出せず、その夢を諦めた佐藤研一郎は、ラジオ修理のアルバイトから興味をもった抵抗器の研究に没頭するようになります。そして自宅の風呂場で開発した「平行リード型固定抵抗器」の実用新案を基に、1958年に東洋電具製作所（ローム株式会社の前身）を創立し、音楽とは異なる道を歩み始めました。

会社を成長させる一方で、音楽を愛する気持ちを持ち続けた佐藤研一郎は、「音楽文化の支援活動」でその想いを形にしていきます。1965年『目で見る音楽史』出版に始まる様々な音楽文化支援活動を行い、1991年にこれらの活動を継続的かつ安定的に実施するために佐藤研一郎とローム株式会社を中心となつて、音楽文化支援を行う『財団法人 ローム ミュージック ファンデーション』（現在は「公益財団法人」）を設立しました。

ローム ミュージック ファンデーションの理事長として、音楽文化の普及と発展のために様々な事業を行いました。特に若い音楽家の支援に力を入れていました。それは、自身が「音楽家になることの苦勞」を一番理解していたからでした。同時に、「音楽ってというのは、一人だけで上手に弾けるようになるわけじゃない。チケットを買って聴きに来てくれる人がいるから、舞台上で弾こうって気にもなる。支援の目的として聴衆の輪をひろげるのも大事なこと。」と、多くの人に音楽を親しんでもらいたいとも願っていました。その想いはいつまでも色褪せることなく、ローム ミュージック ファンデーションの理念に受け継がれ、現在も多くの音楽家への支援、そして音楽を親しんでいただく機会を増やすことに繋がっています。



© Hideki Otsuka

||: ピアニスト 小山実稚恵

Michie Koyama

圧倒的存在感をもつ日本を代表するピアニスト。チャイコフスキー国際コンクール、ショパン国際ピアノコンクール入賞以来、常に第一線で活躍し続けている。協奏曲のレパートリーは60曲を超え、国内外の主要オーケストラや指揮者からの信頼も厚く、モスクワ放送響、ベルリン響、ロイヤル・フィル、BBC響、ワルシャワ・フィル、モントリオール響などと共演している。16年度 芸術選奨文部科学大臣賞を受賞した『12年間・24回リサイタルシリーズ』や『ベートーヴェン、そして...』が、その演奏と企画性で高く評価された。2022年からはサントリーホール・シリーズ、第1シーズン Concerto<以心伝心>を25年まで開催している。ショパン、チャイコフスキー、ロン＝ティボーなど国際音楽コンクールの審査員も務める。また、東日本大震災以降は、被災地で演奏を行い、仙台では被災地活動の一環として自ら企画立案し『こどもの夢ひろば"ボレロ"』を開催。CDは、ソニーと専属契約を結び、33枚目となる最新CD『モノローグ』まで7作連続して「レコード芸術」特選盤に選ばれる。著書として『点と魂』、平野昭氏との共著『ベートーヴェンとピアノ』を出版している。05年度文化庁芸術祭大賞、13年度 東燃ゼネラル音楽賞本賞、15年度 文化庁芸術祭優秀賞受賞。17年度 紫綬褒章受章。

オフィシャル・ホームページ <https://www.sonymusic.co.jp/artist/MichieKoyama/>

音楽を育み、豊かな文化を。

ローム ミュージック ファンデーションは音楽文化の発展・普及のためにこれからの音楽界を担う若い音楽家の育成や、音楽をより身近にするため多くのコンサートを開催・支援することで聴衆の拡大を目指しより良い社会づくりに貢献していきます。

音楽文化の発展 ~音楽家の育成~



奨学援助



ローム ミュージック セミナー



ローム ミュージック フェスティバル



Kyoto×Classics (配信公演)

ローム ミュージック ファンデーション
Webサイト

その他の
活動など事業の
詳細はこちら→

